

# 平成23年度

## 登録左官基幹技能者認定試験問題解答 (60分)

### 甲信越ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 (四肢択一法)

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて8ページです。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
  - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
  - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。  
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
  - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

**問題1 建設技能就業者の実態に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 業種によっては、技能者が高齢化し、このままでは技能を継承するシステムが破綻する恐れがある。
2. 現場技術者の事務繁忙によって、生産現場では職長級技能者に瞬発力が期待されている。
3. 建設業界は、技能レベルを反映した賃金や処遇の改善を行い、技能者が安心して生涯を託せる労働環境を実現する必要がある。
4. 登録基幹技能者は、現場施工における十分な経験を有し、技術者および他の職長との調整能力、一般の技能者に対する施工管理・指導能力に優れている。

**問題2 登録基幹技能者講習を受講するための要件に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 10年以上の実務経験
2. 職長経験年数3年以上
3. (社)日本左官業組合連合会の会員
4. 1級技能士、施工管理技士の資格

**問題3 建設現場の生産体制における技能者の職階に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 初級技能者とは、補助者として作業する見習者は含まず、上司の直接的指示・指導がなくても、安全に作業できるものである。
2. 中級技能者とは、業種に応じた資格を有し、上司の指導に基づき部下を指示し、自らも技能を発揮し、安全に直接的に施工にあたることができるものである。
3. 上級技能者（職長クラス）とは、業種に応じた資格を有し、優れた直接的施工能力を持ち、担当工事現場の責任者として工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行うことができるものである。
4. 基幹技能者（上級職長クラス）とは、現場の施工の実績に精通し、現場における作業管理・調整能力を有することにより、現場の実態に応じた施工方法を技術者に提案・調整し、現場の技能者に対しては適切な指揮・統率を行っていく役割を担っているものである。

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力
2. 技術の進展等に的確に対応した技術に関連した知識
3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力
4. 建設現場のすべての職種の原価管理および品質管理を一括して管理できる能力

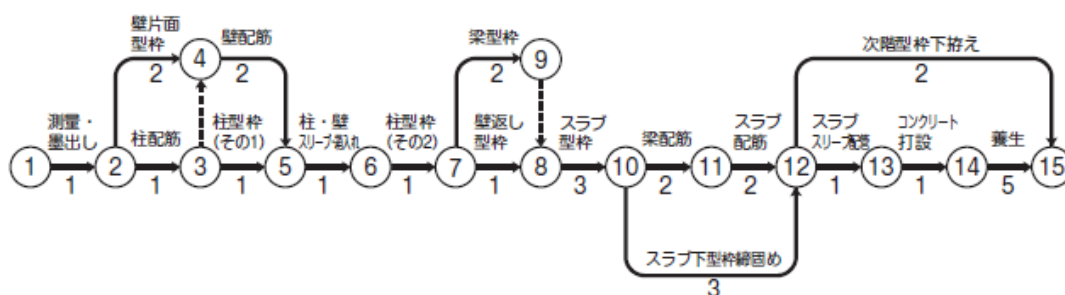
問題5 OJT 教育における指導・教育の基本認識に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 信頼とコミュニケーション
2. 適性に合わせた指導育成
3. 継続的に毎週実施
4. 幅広い職務能力の育成

問題6 OJT の指導事例に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 昼食会および昼礼の参加等
2. 挨拶の方法
3. 現場詰所内の清掃等
4. 作業着の着用方法および安全具の付け方

問題7 次のネットワーク式工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



「ネットワーク式工程表の例」

1. このネットワーク式工程表の、クリティカルパスは、23 日である。
2. この矢線は、作業（アクティビティ）を示す。
3. この点矢線は、ダミーを示し、作業日数は1日である。
4. この印は、作業の結合点を示し、その中の数字は、作業日数に無関係である。

**問題 8 建設業法の事例に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 元請負人が不明確な工事内容の提示等、あいまいな見積条件により下請負人に見積りを行わせた場合は、建設業法上違反のおそれがある行為である。
2. 元請負人が下請負人から工事内容等の見積条件に関する質問を受けた際、元請負人が、未回答あるいは曖昧な回答をした場合は、建設業法上違反のおそれがある行為である。
3. 元請負人が予定価格 700 万円の下請け契約を締結する際、見積期間を 3 日として下請負人に見積りを行わせた場合は、建設業法上違反となる行為である。
4. 見積りの工事内容に関して、元請負人が最低明示すべき事項は、元請会社の工事現場における実行予算書の金額であり、この金額を元請会社が提示しなかった場合、建設業法上違反となる行為である。

**問題 9 建設工事標準下請契約約款の内容に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 建設工事標準下請契約約款は、別冊の図面、仕様書、現場説明書、現場説明に対する質疑回答書等の設計図書を内容とする工事の請負契約をいう。
2. 下請負人は、関連工事の施工者との連絡協力を図らなくても良く、元請会社の指示・指導に従う。
3. 元請負人は、下請負人に対し、建設業法その他工事の施工、労働者の使用等に関する法令に基づき、必要な指示・指導を行い、下請負人はこれに従わなければならない。
4. 下請負人は、設計図書に基づく請負代金内訳書、工事計画書および工程表を作成し、契約締結後速やかに元請負人に提出して、その承認を受ける。

**問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、最も不適当なもののはどれか。**

1. BS のメンバーは、専門家、ゼネラリスト等で構成し、他分野の専門家は入れないほうが良い。
2. BS のルールでは、他人の意見を批判しない、量を出すことが優先されることから、安心して誰もが自由にアイデアを述べることができる。
3. BS は、7~8 人程度の少人数の集団で、ある人の意見やアイデアに関して他の人たちが連鎖反応を示し、多彩・豊富・独創的な考え方を引き出す働きがある。
4. BS におけるアイデアや意見に関する連鎖反応は、チーム全体の楽しさや競争心を生み出すことにつながっている。

**問題 1 1 仕様書の組合せに関して 最も不適当なものはどれか。**

1. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 — 公共建築工事標準仕様書
2. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 — 建築工事監理指針
3. 日本建築学会編 — 建築工事標準仕様書 JASS 23 (左官工事)
4. (社) 日本左官業組合連合会編 — 左官施工法 2008

**問題 1 2 左官工事に要求される品質管理に関して 最も不適当なものはどれか。**

1. 所要の厚さを保っていること。
2. 仕上げ面は、硬いほどよい。
3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
4. 仕上げ面の状態は、全壁面に関して一様であること。

**問題 1 3 塗り壁の故障の組合せに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 下地の吸水小—はく離・ひび割れ—吸水の適正化をはかる。
2. ドカ付け—ひび割れ—つけ送りを行う。
3. 強度不足—剥離・損傷—調合を替える。
4. 細い砂—網状ひび割れ—富調合とする。

**問題 1 4 劣化のメカニズムの記載に関して、最も不適当なものはどれか。**

劣化のメカニズムとは、躯体コンクリートとモルタル部およびモルタル部とタイル面などの1. 界面に発生する間隙で、2. 同種材料の接着層間に発生する3. 乾湿と4. 温度とによる伸縮時に発生する局部応力と、接着強さとのバランスに原因がある。

**問題 1 5 外壁の雨掛かりを低減する配慮に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 軒の出、けら場の出は、大きくする。
2. 基礎は、高くする。
3. 真壁外壁では、柱・梁にちりじゃくりを設ける。
4. 板金の立ち上がりは、高いほど、室外側であるほど安全である。

**問題 16 住宅瑕疵担保責任保険 設計施工基準の外壁の防水の記載に関して、最も不適当なものはどれか。**

通気構法の外壁に用いる防水紙は、JIS A 6111(透湿防水シート)に適合する1. 透湿防水シートまたはこれと2. 同等以上の透湿性能及び防水性能を有するものとする。直張りの防水紙は、JISA6005(アスファルトルーフィングフェルト)に適合する3. アスファルトフェルト 430または4. 透湿防水シートをとする。

**問題 17 コンクリート表面の処理方法の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 高圧水洗浄 — 必要な粗さを設定できるが、作業者によるばらつきが多い。
2. サンダー掛け — 施工のバラつきが出やすい。
3. ブラシ掛け — 作業は簡易だが、施工の管理が曖昧となりやすく水洗いを併用する。
4. 専用シートによる凹凸処理 — 専用シートの廃材が発生するため、その処理対策を講じておく必要がある。

**問題 18 仕上塗材の種類および呼び名に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 L と呼ぶ。
2. 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材は、外装厚塗材 E と呼ぶ。
3. 内装セメント系薄付け仕上塗材は、内装薄塗材 C と呼ぶ。
4. 内装せっこう系厚付け仕上塗材は、内装厚塗材 W と呼ぶ。

**問題 19 施工管理のサイクルに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 第1段階の計画において重要なことは、安全管理に関係なく、品質、工程、原価の面で優れた計画を練り上げる。
2. 第2段階の実施において重要なことは、設計図などに則って適切に施工すると共に、目標に対して、施工状態が判断できるようなデーターを調査記録しておく。
3. 第3段階の検討において重要なことは、調査記録したデーターを適切に判断し、施工管理上の問題の所在を明確にする。
4. 第4段階の処置において重要なことは、第3段階の結果に基づき、最大の効果が得られるように最も適切な処置方法を見つけ出すことである。

**問題 20 施工計画のための事前調査に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 建設工事は受注産業であり、一つ一つがすべて新しい仕事であって、その都度、その工事に適した施工法を選定しなければならない。
2. 建設工事現場の隣接建物の構造は直接、工事に起因しない為、事前の調査等は必要では無い。
3. 建設工事は自然を相手に取り組むものであるから、現地特有の自然現象などを事前に調査する必要がある。
4. 周辺道路の状況は資材の搬出入等に大きく影響する為、必ず事前に調査するべきである。

**問題 21 建設工事における環境関連法令に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 労働安全衛生法による石綿障害予防規則は解体・改修工事現場において、石綿等の封じ込め・囲い込み、除去作業の施工方法、規則等を示したものである。
2. 水質汚濁に関する下水道法は下水道に放流する水質、流量などを規制するものである。
3. 騒音規制法は、地域で定められた特定建設作業で騒音基準値が定められている。
4. 振動規制法は、特定建設作業で振動基準値を定めたものであり、各地域での特色は無い。

**問題 22 コンクリート不良の発生しやすい場所に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 斜め壁の下部は傾きが大きい程、エアータンクがたまりやすく、不良箇所が発生しやすい。
2. 柱の下部はコンクリートを投入する場所でもあり、骨材が分離しやすく、豆板等の不具合が発生しやすい場所である。
3. 壁の上部は木づち等による、タタキ作業ができず不良箇所が発生しやすい。
4. 窓開口下端はエアータンクがたまりやすく、不良箇所が発生しやすい。

**問題 23 労働安全に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 労働災害とは、元気に家を出て、元気に仕事をして、元気に帰るという当たり前のことが中断されることである。
2. 全国安全週間の第1回目は、戦後の昭和30年に実施された。
3. 日本最初の労働保護法規は、明治44年に公布された工場法である。
4. 労働基準法は、戦後の昭和22年に制定された。

**問題 2 4 安全衛生活動の進め方に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 安全衛生活動として、自主性や自発性を持たせるのではなく事業者や安全担当者がルールに従って命令し、それでもだめな時には強制的にやらせる必要がある。
2. 安全衛生活動として、事業者は教育訓練をしたり、指導・監督し、従業員がミスを起こさないように努める必要がある。
3. 安全衛生活動として、安全活動施工サイクル活動、指差し呼称活動、危険予知活動等が知られている。
4. 安全衛生活動として、従業員 1 人 1 人が「危ないことは危ない」と自分のこととして感じる必要がある。

**問題 2 5 災害の発生したときに応急措置に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 災害に直結した設備、機械等の動力は直ちに停止する。
2. 被災者を救出し応急手当をする。
3. 災害発生現場を直ちに復旧する。
4. 作業者の気持ちを落ち着かせる措置をとる。